

藍染振興事業の推進

—No.14 羽生市—

【事業の目的】

羽生市の伝統工芸である「武州正藍染」の魅力発信や認知度の向上を図ります。

【事業の内容】

2020年東京オリンピック・パラリンピックまでの期間を重点事業実施期間と位置付けて、藍染の魅力を発信していきます。

【事業年度】

平成29年度～平成32年度（4か年）

【予算額(千円)】

3,527千円（平成30年度）

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

羽生市では、クールビズ期間中の毎週月曜日を「藍染マンデー」とし、職員が藍染製品を着用するなど、日頃より藍染の認知度の向上を図っています。しかしながら、「伝統工芸」というと、親しみにくいイメージを持たれてしまうことがあります。

そこで、2020年東京オリンピック・パラリンピックの公式エンブレムに「藍色の市松模様」が採用されたことを機に、市内外、さらには海外に向けて藍染の魅力を発信していきます。

【事業のPRポイント】

市内外の方に向けて藍染体験を実施し、藍に触れることで親しみを感じてもらい、羽生市の藍染を広く知ってもらえるよう、藍染の振興を図ってまいります。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成29年に羽生市藍染振興協議会（市内4業者）を設立し、藍染振興活動を行っています。平成29年度には、「第8回世界盆栽大会 in さいたま」の伝統工芸ブースへの出展や、姉妹都市ベルギー王国デュルビューイ市を訪問し常設展示用の藍染製品を贈呈するなど、世界に向けて羽生市の藍染のPRを行いました。

また、東武鉄道・秩父鉄道の羽生駅改札での藍染暖簾の設置や、第35回藍のまち羽生さわやかマラソン大会においてTBSドラマ「陸王」に登場する「こはぜ屋の半纏」の着用体験などを実施し、PRを行いました。

平成30年度においては、市民向けの藍染体験講座の実施や、埼玉WABISABI 大祭典2018に出展を予定しており、羽生市の藍染を国内外にPRします。

また、藍染PR動画を作成し、市ホームページや動画配信サイト YouTube にて発信しています。

【参考資料】

PRイベントの様子

〔 連絡先 〕

商工課 商工振興係 048(560)3111



第8回世界盆栽大会 i nさいたまでの展示の様子



ベルギー王国デュルビュイ市での展示の様子

